

**「勤務環境に関するアンケート調査」  
集計結果報告書 [要約]**

**過重労働の実態と女性医師の就業環境**

*Digest*

平成18年5月

大阪府医師会 勤務医部会  
(勤務環境検討委員会)

# 目 次

<b>1. 調査の概要</b> .....	1
1) 調査目的 .....	1
2) 調査名称と調査対象 .....	1
3) 客体抽出 .....	1
4) 調査方法および調査期間 .....	1
5) 回収状況 .....	2
6) 解析手法 .....	2
<b>2. フェイスシート</b> .....	3
1) 性別 .....	3
2) 年齢構成 .....	3
3) 所属（主な勤務地） .....	3
<b>3. 過重労働の実態</b> .....	4
1) 1週間あたりの平均実労働時間〔合計〕 .....	4
2) 1週間あたりの平均超過勤務時間 .....	5
3) 平均当直回数〔合計〕 .....	6
4) 当直勤務（当直明け勤務）の実態 .....	7
5) （平均的な）当直の勤務内容 .....	8
6) 就業時間についての考え方 .....	9
7) 過重労働による不安内容 .....	10
8) 労働基準法規定の宿日直勤務（基準）の認識度 .....	11
<b>4. 女性医師の就業環境</b> .....	12
1) 育児と仕事の両立についての考え方 .....	12
2) 実際の育児と仕事の両立 .....	13
3) 育児休暇を取りたいか .....	13
4) （育児休暇を）取れない（取りたくない）理由 .....	13
5) （所属施設における）産休制度の利用のしやすさ .....	14
6) （所属施設における）育休制度の利用のしやすさ .....	14
7) （所属施設内の）託児・保育施設の有無 .....	15
8) （近隣の）託児・保育施設の有無 .....	15
9) （所属施設からの）託児・保育施設利用時の補助の有無 .....	15
10) 長期間離職後の現場復帰の可否 .....	16
11) 長期間離職後の現場復帰を容易にするために必要なもの .....	17
<b>5. まとめ、考察と提言</b> .....	18
<b>6. おわりに</b> .....	20

# 1. 調査の概要

## 1) 調査目的

勤務医の勤務実態（特に過重労働）と女性医師の働く環境整備の実態等を把握し、勤務環境の改善、医療安全推進策、診療報酬改定（ドクターフィー）などに資することを目的とする。

## 2) 調査名称と調査対象

### 1. 「第18回会員意見調査（勤務医用）」

（調査対象）本会勤務医会員のうち、医療以外の職業、無職を除く全勤務医師9,201人

### 2. 「勤務環境に関するアンケート調査（非会員勤務医用）」

（調査対象）大阪府内に所在する病院勤務医師のうち、本会会員が20人以上在籍する73機関に常勤の本会非会員337人（推計値。実際には非会員のいない施設4施設（17人）があった）

## 3) 客体抽出

上記「1.」は、年齢層による層化基準に基づく

上記「2.」は、上述の73機関の病院（施設）長に対し、会員数に応じ3人（56機関）・6人（9機関）・10人（1機関）・15人（7機関）ずつ抽出してもらうよう依頼

## 4) 調査方法および調査期間

[調査方法]

「1.」は、直接郵送、無記名、自計方式

「2.」は、調査対象病院（施設）長への一括郵送、無記名、自計方式

[調査期間]

	1. 第18回会員意見調査	2. 勤務環境に関するアンケート調査（非会員）
調査対象者	9,201人	（調査票発送者数）337人
調査票送付	平成17年 6月30日	平成17年 7月 8日
回答期限	7月20日	7月29日
未回答者への再依頼	8月 2日、 9月 7日	9月 8日
最終回答期限	10月20日	9月30日
集計・解析等	・平成18年3月	・(H17.11/13)大阪府医師会 医学会総会一般演題発表 ・全体の集計は平成18年3月 ・解析は平成18年度以降も 引き続き行う

## 5) 回収状況

有効回答率 60.0%

(有効回答数/回答可能数(推計) = 192/320人)

全送付数337人から非会員のいない病院(施設)4機関の17人を除く

病院単位での回答率 81.2%

(回答病院(施設)数/回答可能病院(施設数) = 56/69機関)

[参考] 「第18回 会員意見調査」勤務医アンケートの有効回答率 55.6%

(有効回答数/送付数 = 705/1,268)

## 6) 解析手法

非会員「勤務環境に関するアンケート調査」は、本会会員20人以上が在籍する病院(施設)の長に客体抽出を依頼したため、回答者に偏りが見られた(次のとおり)。

【主な勤務地】(臨床)病院勤務者78.6%、(臨床)大学附属病院勤務者19.8%

【年齢】29才以下21.4%、30代46.4%、40代26.0%

↓

そこで、「勤務環境に関するアンケート調査」の単純集計のほかに、「第18回 会員意見調査(勤務医)」の回答と比較するにあたり、【主な勤務地】が(臨床)病院勤務者または(臨床)大学附属病院勤務者であり、かつ【年齢】が49才以下の回答者に絞って比較することとした。

↓

その結果、非会員「勤務環境に関するアンケート調査」の回答者は176人(病院勤務者:男性93人・女性50人、大学附属病院勤務者:男性23人・女性10人)、「会員意見調査」の回答者は193人(病院勤務者:男性108人・女性36人、大学附属病院勤務者:男性40人・女性9人)、総数369人(病院勤務者:男性201人・女性86人、大学附属病院勤務者:男性63人、女性19人)を対象として、集計結果を解析し報告する。

## 2. フェイスシート

### 1) 性別

	合計	男性	女性
計・非会員	176	116	60
	100.0%	65.9%	34.1%
計・会員	193	148	45
	100.0%	76.7%	23.3%
計・一般病院	287	201	86
	100.0%	70.0%	30.0%
計・大学病院	82	63	19
	100.0%	76.8%	23.2%
全 体	369	264	105
	100.0%	71.5%	28.5%

### 2) 年齢構成 (平成17年6月30日現在満年齢)

	合計	20代	30代	40代
非会員・ 男性・計	116	18	61	37
	100.0%	15.5%	52.6%	31.9%
非会員・ 女性・計	60	23	26	11
	100.0%	38.3%	43.3%	18.3%
会員・ 男性・計	148	25	47	76
	100.0%	16.9%	31.8%	51.4%
会員・ 女性・計	45	12	23	10
	100.0%	26.7%	51.1%	22.2%
計・非会員	176	41	87	48
	100.0%	23.3%	49.4%	27.3%
計・会員	193	37	70	86
	100.0%	19.2%	36.3%	44.6%
計・男性	264	43	108	113
	100.0%	16.3%	40.9%	42.8%
計・女性	105	35	49	21
	100.0%	33.3%	46.7%	20.0%
全 体	369	78	157	134
	100.0%	21.1%	42.5%	36.3%

### 3) 所属 (主な勤務地)

	合計	一般病院	大学病院
計・非会員	176	143	33
	100.0%	81.3%	18.8%
計・会員	193	144	49
	100.0%	74.6%	25.4%
計・男性	264	201	63
	100.0%	76.1%	23.9%
計・女性	105	86	19
	100.0%	81.9%	18.1%
計・20代	78	51	27
	100.0%	65.4%	34.6%
計・30代	157	122	35
	100.0%	77.7%	22.3%
計・40代	134	114	20
	100.0%	85.1%	14.9%
全 体	369	287	82
	100.0%	77.8%	22.2%

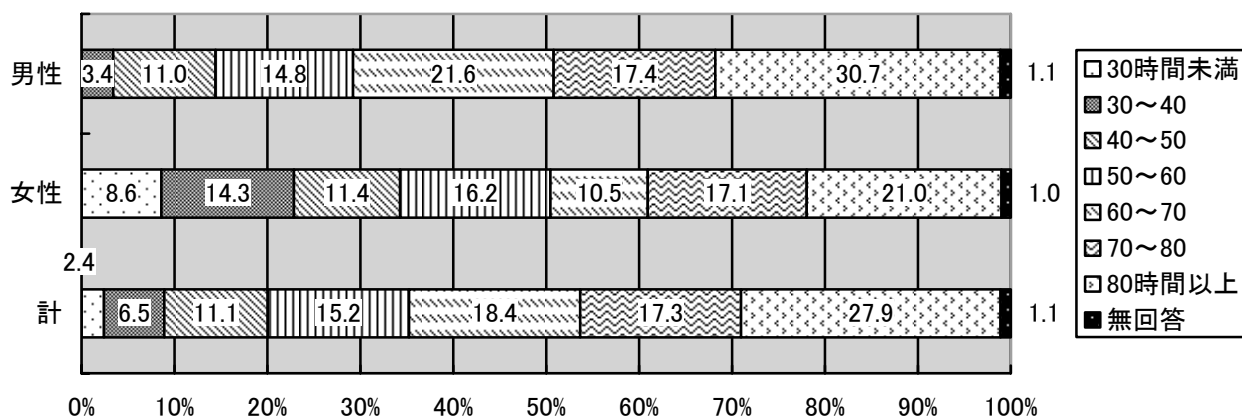
### 3. 過重労働の実態

1) 1週間あたりの平均実労働時間 [合計] (超過勤務時間を含む)

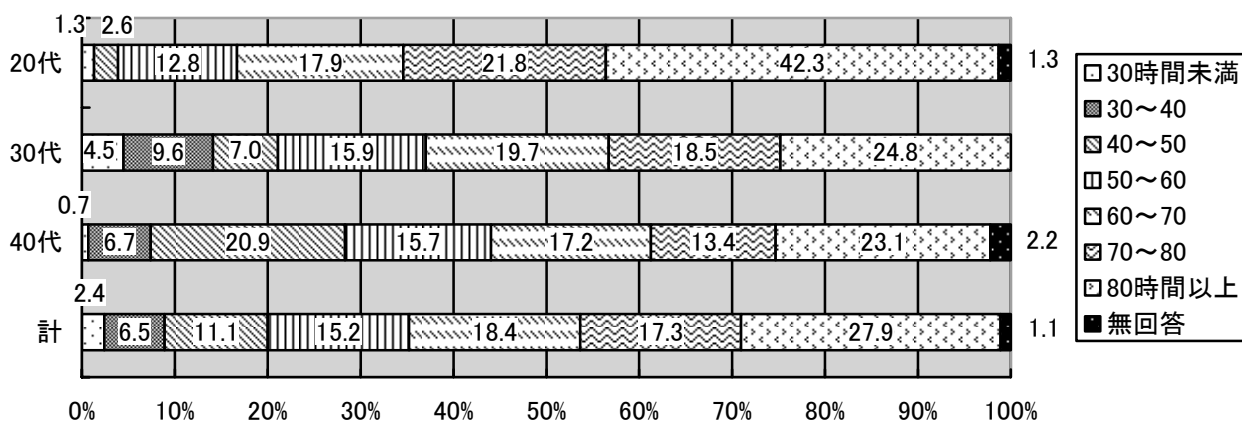
[臨床(外来・病棟)、臨床外、当直(宿日直)、アルバイト等の労働時間合計]

	合計	30時間未満	30~40時間	40~50時間	50~60時間	60~70時間	70~80時間	80時間以上	無回答
参考・研修医	24	0	0	2	3	6	5	7	1
	100.0%	0.0%	0.0%	8.3%	12.5%	25.0%	20.8%	29.2%	4.2%
計・非会員	176	2	6	14	26	42	31	52	3
	100.0%	1.1%	3.4%	8.0%	14.8%	23.9%	17.6%	29.5%	1.7%
計・会員	193	7	18	27	30	26	33	51	1
	100.0%	3.6%	9.3%	14.0%	15.5%	13.5%	17.1%	26.4%	0.5%
計・男性	264	0	9	29	39	57	46	81	3
	100.0%	0.0%	3.4%	11.0%	14.8%	21.6%	17.4%	30.7%	1.1%
計・女性	105	9	15	12	17	11	18	22	1
	100.0%	8.6%	14.3%	11.4%	16.2%	10.5%	17.1%	21.0%	1.0%
計・20代	78	1	0	2	10	14	17	33	1
	100.0%	1.3%	0.0%	2.6%	12.8%	17.9%	21.8%	42.3%	1.3%
計・30代	157	7	15	11	25	31	29	39	0
	100.0%	4.5%	9.6%	7.0%	15.9%	19.7%	18.5%	24.8%	0.0%
計・40代	134	1	9	28	21	23	18	31	3
	100.0%	0.7%	6.7%	20.9%	15.7%	17.2%	13.4%	23.1%	2.2%
全体	369	9	24	41	56	68	64	103	4
	100.0%	2.4%	6.5%	11.1%	15.2%	18.4%	17.3%	27.9%	1.1%

性別別平均実労働時間[合計]



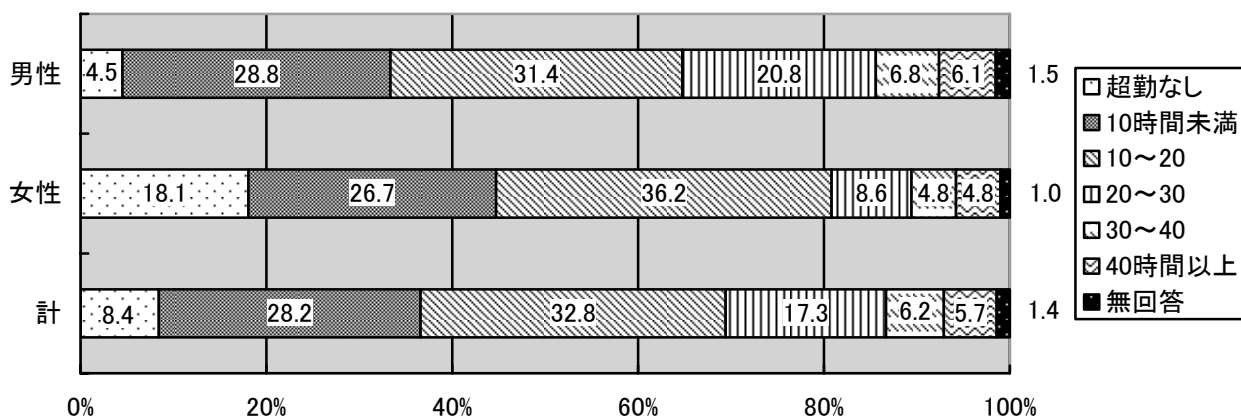
年齢別平均実労働時間[合計]



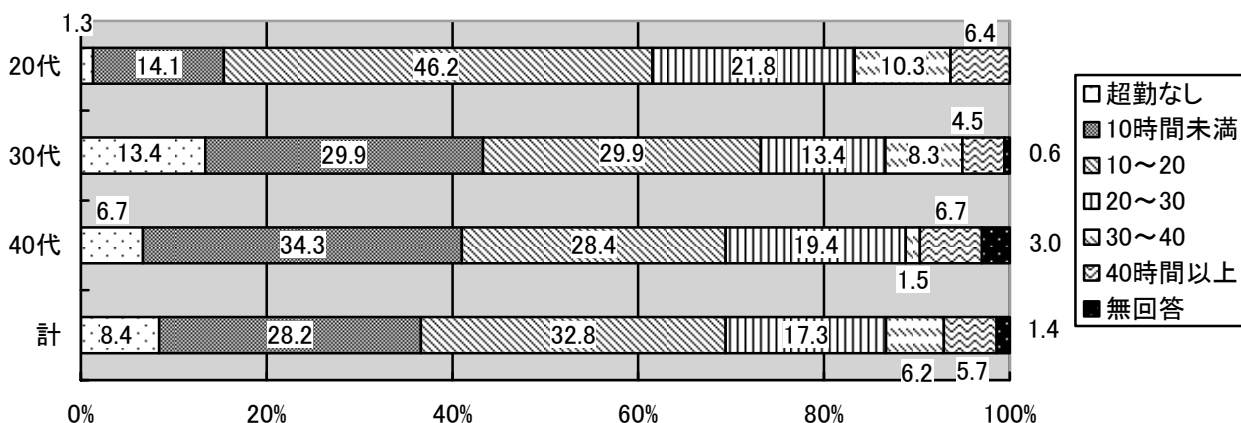
2) 1週間あたりの平均超過勤務時間（当直は除く）

	合計	超勤なし	10時間未満	10～20時間	20～30時間	30～40時間	40時間以上	無回答
参考・研修医	24	1	2	8	5	5	2	1
	100.0%	4.2%	8.3%	33.3%	20.8%	20.8%	8.3%	4.2%
計・非会員	176	9	45	64	27	17	10	4
	100.0%	5.1%	25.6%	36.4%	15.3%	9.7%	5.7%	2.3%
計・会員	193	22	59	57	37	6	11	1
	100.0%	11.4%	30.6%	29.5%	19.2%	3.1%	5.7%	0.5%
計・男性	264	12	76	83	55	18	16	4
	100.0%	4.5%	28.8%	31.4%	20.8%	6.8%	6.1%	1.5%
計・女性	105	19	28	38	9	5	5	1
	100.0%	18.1%	26.7%	36.2%	8.6%	4.8%	4.8%	1.0%
計・20代	78	1	11	36	17	8	5	0
	100.0%	1.3%	14.1%	46.2%	21.8%	10.3%	6.4%	0.0%
計・30代	157	21	47	47	21	13	7	1
	100.0%	13.4%	29.9%	29.9%	13.4%	8.3%	4.5%	0.6%
計・40代	134	9	46	38	26	2	9	4
	100.0%	6.7%	34.3%	28.4%	19.4%	1.5%	6.7%	3.0%
全体	369	31	104	121	64	23	21	5
	100.0%	8.4%	28.2%	32.8%	17.3%	6.2%	5.7%	1.4%

性別平均超過勤務時間[当直除く]



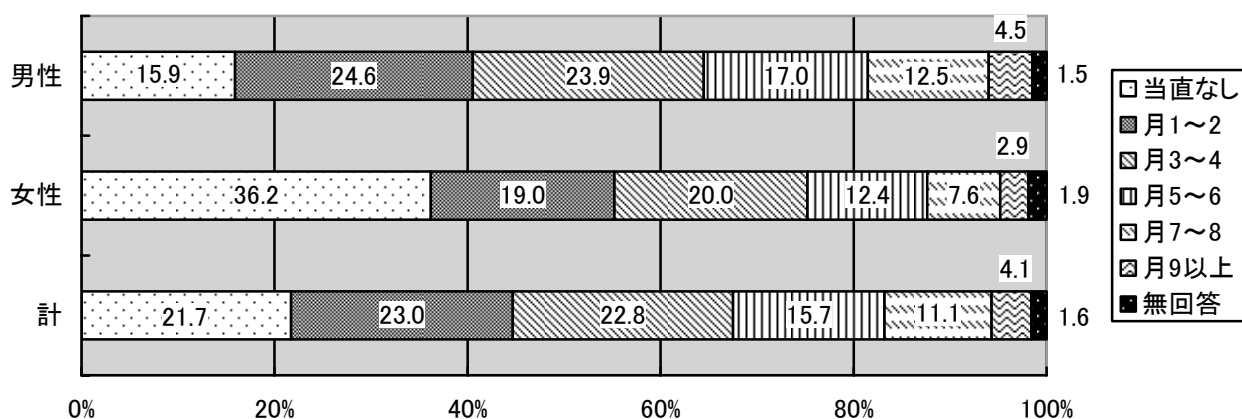
年齢別平均超過勤務時間[当直除く]



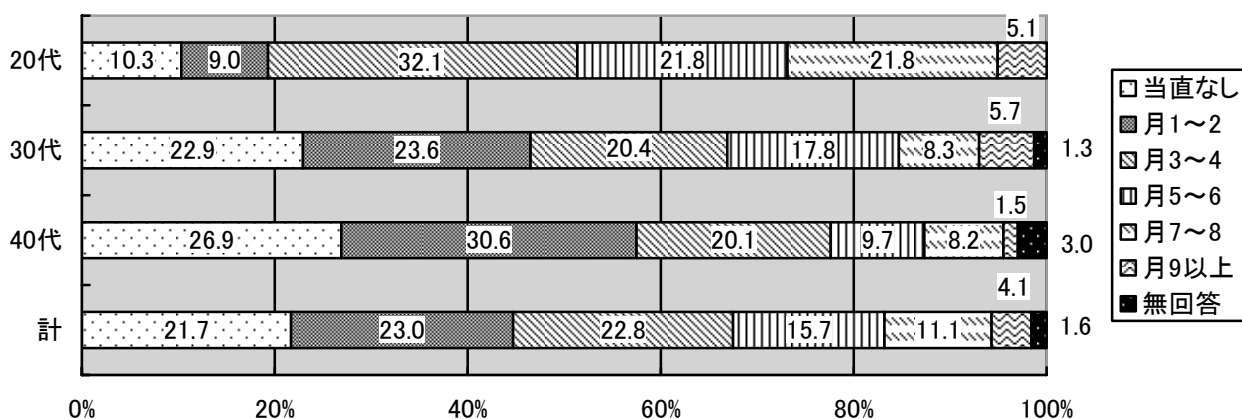
### 3) 平均当直回数 [合計]

	合計	当直は ない	月 1~2 回	月 3~4 回	月 5~6 回	月 7~8 回	月 9 回 以上	無回答
参考・研修医	24	3	2	8	7	3	1	0
	100.0%	12.5%	8.3%	33.3%	29.2%	12.5%	4.2%	0.0%
計・非会員	176	18	50	52	28	22	4	2
	100.0%	10.2%	28.4%	29.5%	15.9%	12.5%	2.3%	1.1%
計・会員	193	62	35	32	30	19	11	4
	100.0%	32.1%	18.1%	16.6%	15.5%	9.8%	5.7%	2.1%
計・男性	264	42	65	63	45	33	12	4
	100.0%	15.9%	24.6%	23.9%	17.0%	12.5%	4.5%	1.5%
計・女性	105	38	20	21	13	8	3	2
	100.0%	36.2%	19.0%	20.0%	12.4%	7.6%	2.9%	1.9%
計・20代	78	8	7	25	17	17	4	0
	100.0%	10.3%	9.0%	32.1%	21.8%	21.8%	5.1%	0.0%
計・30代	157	36	37	32	28	13	9	2
	100.0%	22.9%	23.6%	20.4%	17.8%	8.3%	5.7%	1.3%
計・40代	134	36	41	27	13	11	2	4
	100.0%	26.9%	30.6%	20.1%	9.7%	8.2%	1.5%	3.0%
全 体	369	80	85	84	58	41	15	6
	100.0%	21.7%	23.0%	22.8%	15.7%	11.1%	4.1%	1.6%

### 性別当直回数[合計]



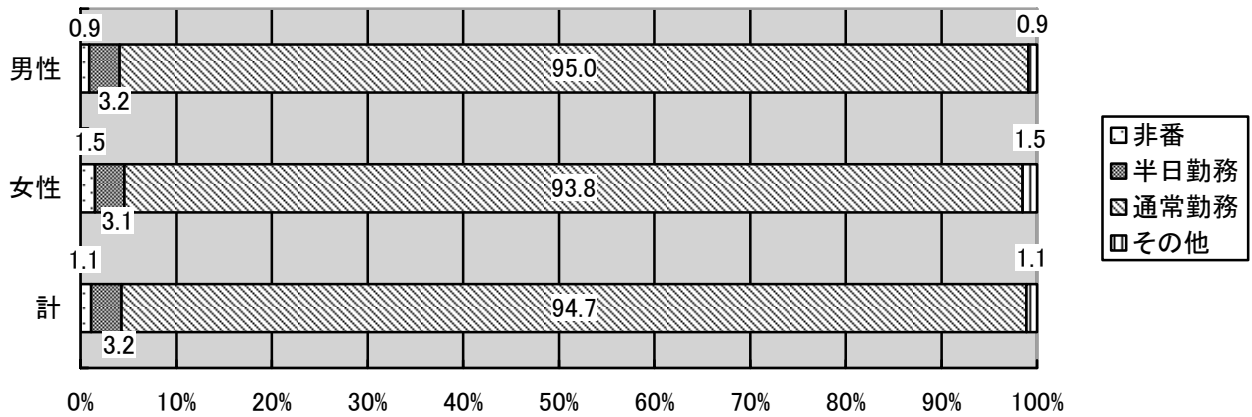
### 年齢別当直回数[合計]



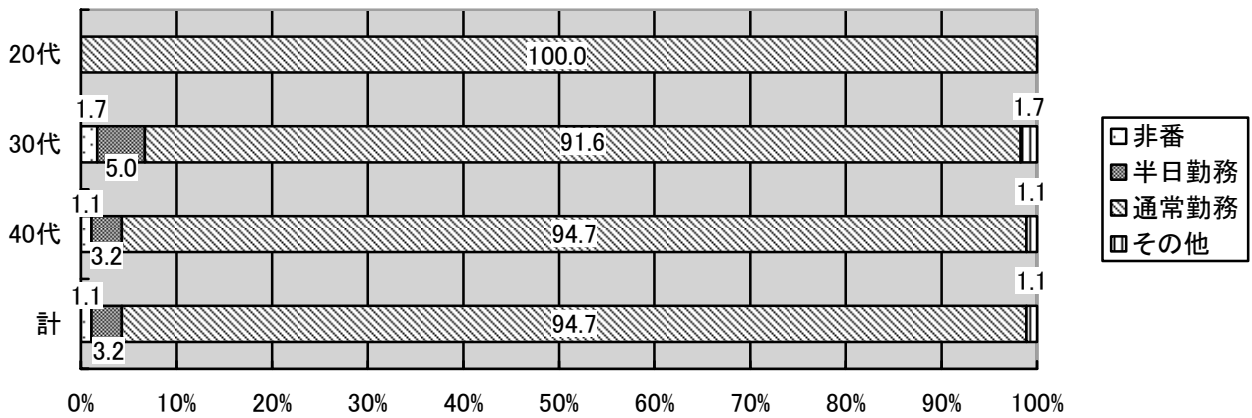
4) 当直勤務（当直明け勤務）の実態（前問で「当直回数」を回答した者のみ）

	合計	非番	半日勤務	通常勤務	その他	無回答
計・非会員	156	1	6	148	1	0
	100.0%	0.6%	3.8%	94.9%	0.6%	0.0%
計・会員	127	2	3	120	2	0
	100.0%	1.6%	2.4%	94.5%	1.6%	0.0%
計・男性	218	2	7	207	2	0
	100.0%	0.9%	3.2%	95.0%	0.9%	0.0%
計・女性	65	1	2	61	1	0
	100.0%	1.5%	3.1%	93.8%	1.5%	0.0%
計・20代	70	0	0	70	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計・30代	119	2	6	109	2	0
	100.0%	1.7%	5.0%	91.6%	1.7%	0.0%
計・40代	94	1	3	89	1	0
	100.0%	1.1%	3.2%	94.7%	1.1%	0.0%
全 体	283	3	9	268	3	0
	100.0%	1.1%	3.2%	94.7%	1.1%	0.0%

性別当直明け勤務実態



年齢別当直明け勤務実態



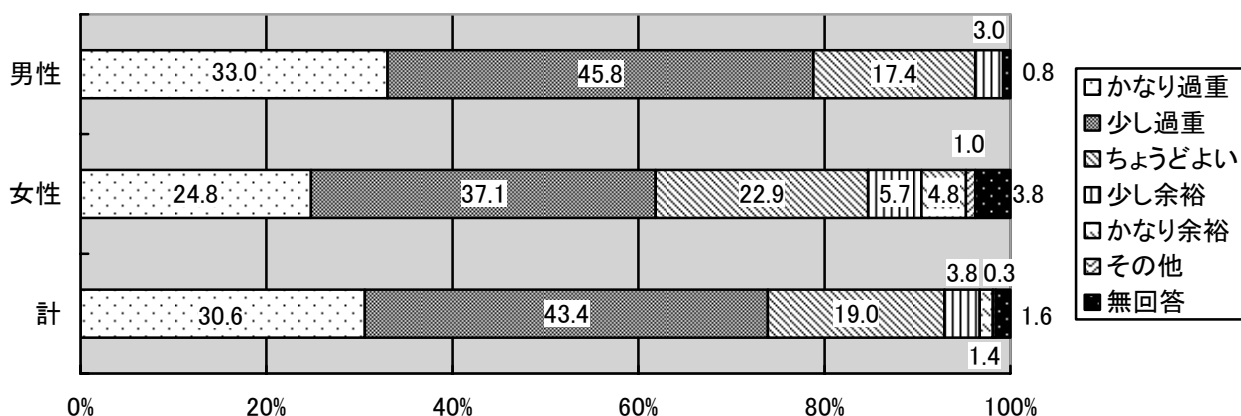
5) (平均的な) 当直の勤務内容 (「当直回数」を回答した者のみ)

	合計	電話当番・ 診回り程度	平均 1~2件の 患者診療	平均 3~4件の 患者診療	平均 5件以上の 患者診療	その他	無回答
計・非会員	156	7	15	38	71	25	0
	100.0%	4.5%	9.6%	24.4%	45.5%	16.0%	0.0%
計・会員	127	3	17	32	59	15	1
	100.0%	2.4%	13.4%	25.2%	46.5%	11.8%	0.8%
計・男性	218	5	29	57	96	30	1
	100.0%	2.3%	13.3%	26.1%	44.0%	13.8%	0.5%
計・女性	65	5	3	13	34	10	0
	100.0%	7.7%	4.6%	20.0%	52.3%	15.4%	0.0%
計・20代	70	3	4	26	30	6	1
	100.0%	4.3%	5.7%	37.1%	42.9%	8.6%	1.4%
計・30代	119	3	14	19	64	19	0
	100.0%	2.5%	11.8%	16.0%	53.8%	16.0%	0.0%
計・40代	94	4	14	25	36	15	0
	100.0%	4.3%	14.9%	26.6%	38.3%	16.0%	0.0%
全 体	283	10	32	70	130	40	1
	100.0%	3.5%	11.3%	24.7%	45.9%	14.1%	0.4%

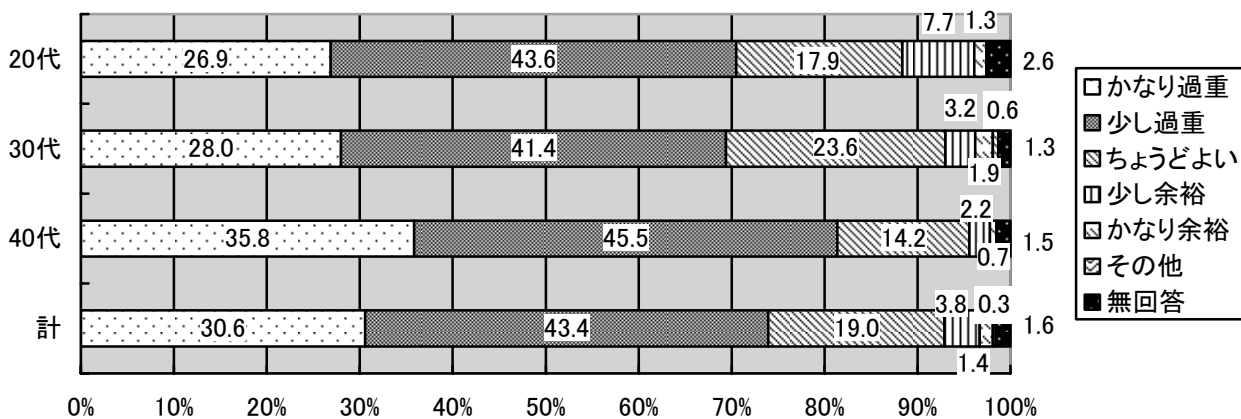
## 6) 就業時間についての考え方

	合計	かなり 過重	少し 過重	ちょうど よい	少し 余裕	かなり 余裕	その他	無回答
計・非会員	176	51	89	28	3	1	1	3
	100.0%	29.0%	50.6%	15.9%	1.7%	0.6%	0.6%	1.7%
計・会員	193	62	71	42	11	4	0	3
	100.0%	32.1%	36.8%	21.8%	5.7%	2.1%	0.0%	1.6%
計・男性	264	87	121	46	8	0	0	2
	100.0%	33.0%	45.8%	17.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.8%
計・女性	105	26	39	24	6	5	1	4
	100.0%	24.8%	37.1%	22.9%	5.7%	4.8%	1.0%	3.8%
計・20代	78	21	34	14	6	1	0	2
	100.0%	26.9%	43.6%	17.9%	7.7%	1.3%	0.0%	2.6%
計・30代	157	44	65	37	5	3	1	2
	100.0%	28.0%	41.4%	23.6%	3.2%	1.9%	0.6%	1.3%
計・40代	134	48	61	19	3	1	0	2
	100.0%	35.8%	45.5%	14.2%	2.2%	0.7%	0.0%	1.5%
全 体	369	113	160	70	14	5	1	6
	100.0%	30.6%	43.4%	19.0%	3.8%	1.4%	0.3%	1.6%

### 性別就業時間についての考え方



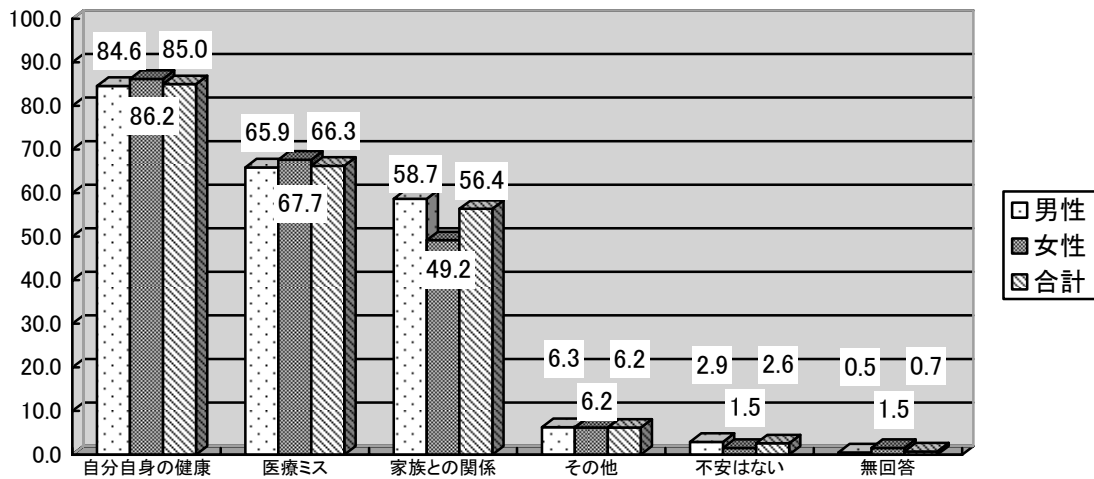
### 年齢別就業時間についての考え方



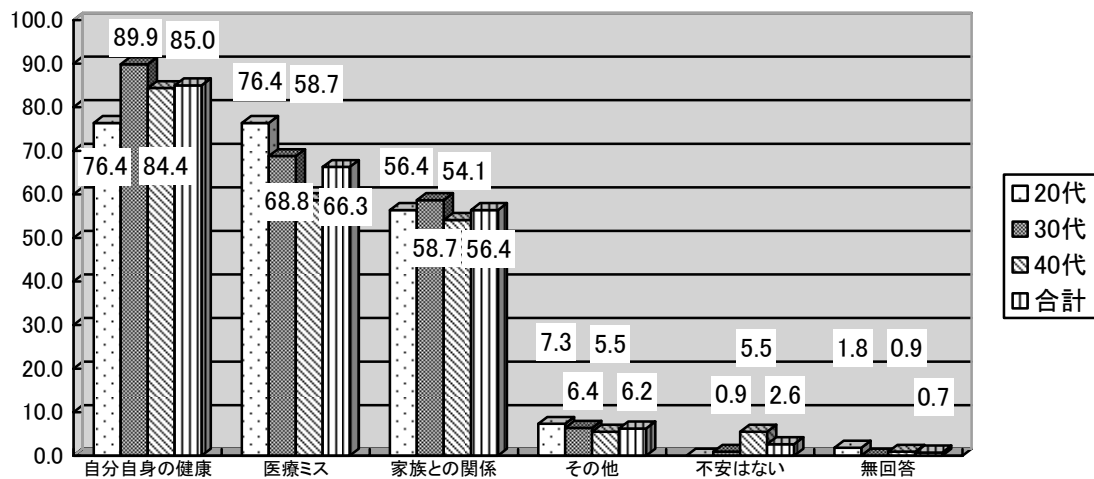
7) 過重労働による不安内容(複数回答可) (前問で「かなり過重」「少し過重」回答者のみ)

	合計	自分自身の健康	医療ミス	家族との関係	その他	不安はない	無回答
計・非会員	302	114	94	80	8	4	2
	N=140	81.4%	67.1%	57.1%	5.7%	2.9%	1.4%
計・会員	291	118	87	74	9	3	0
	N=133	88.7%	65.4%	55.6%	6.8%	2.3%	0.0%
計・男性	455	176	137	122	13	6	1
	N=208	84.6%	65.9%	58.7%	6.3%	2.9%	0.5%
計・女性	138	56	44	32	4	1	1
	N=65	86.2%	67.7%	49.2%	6.2%	1.5%	1.5%
計・20代	120	42	42	31	4	0	1
	N=55	76.4%	76.4%	56.4%	7.3%	0.0%	1.8%
計・30代	245	98	75	64	7	1	0
	N=109	89.9%	68.8%	58.7%	6.4%	0.9%	0.0%
計・40代	228	92	64	59	6	6	1
	N=109	84.4%	58.7%	54.1%	5.5%	5.5%	0.9%
全体	593	232	181	154	17	7	2
	N=273	85.0%	66.3%	56.4%	6.2%	2.6%	0.7%

性別過重労働による不安内容



年齢別過重労働による不安内容



## 8) 労働基準法規定の宿日直勤務（基準）の認識度

### 【宿日直に係る医療法と労働基準法（基準）】

入院患者がいる場合、医療法において医療機関は医師を宿直させなければなりません、その対応として、①所定時間として労働する交替制勤務、②割増賃金を支払う時間外・休日労働、③宿日直があり、宿日直勤務を行わせるためには労働基準監督署長の許可が必要となり、許可を受けた場合、労働基準法上の労働時間、休憩、休日に関する規定は適用除外となります。ただし、その許可基準として、常態としてほとんど労働する必要がないこととする勤務の態様のほか、宿日直の手当や回数、睡眠設備の設置などが定められており、宿日直が日中の通常業務と同程度の労働となる場合には許可されません。

- ・ 宿日直で行える業務；  
定時的巡視や緊急の文書または電話の収受、非常事態発生の準備などに限定される（労働基準法）。通常業務に近い診療活動は、原則認められない（診療活動は時間外労働として、下記時間外労働の限度内で、かつ、割り増し賃金支払が必要）。
- ・ 宿日直回数の限度；  
宿日直回数は週1回、日直回数は月1回が原則。
- ・ 時間外労働の限度時間（期間あたりの限度時間）；  
1週間： 15時間      2週間： 27時間      4週間： 43時間  
1ヶ月： 45時間      2ヶ月： 81時間      3ヶ月： 120時間  
1年間： 360時間

### 労働基準法規定の宿日直勤務（基準）の認識度

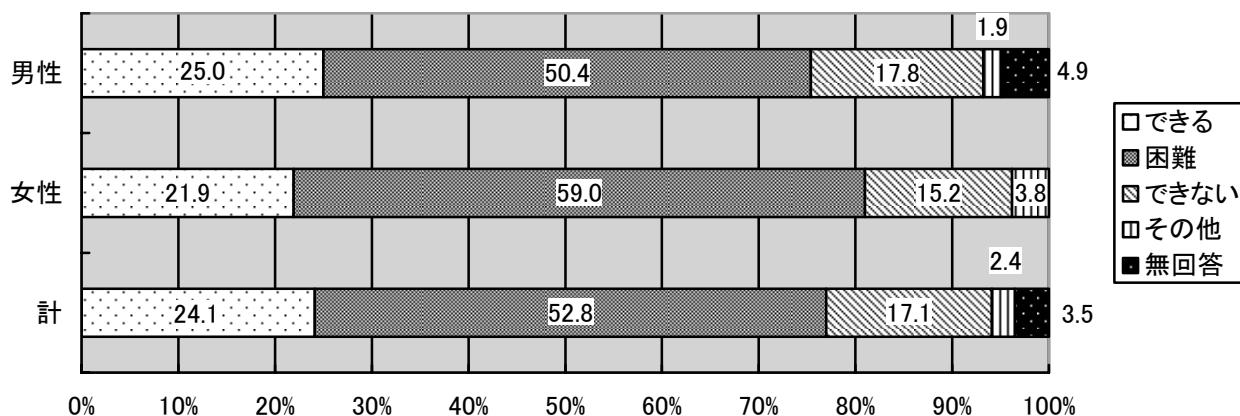
	合計	知っている	知らない	無回答
非会員・計	176	25	150	1
	100.0%	14.2%	85.2%	0.6%
会員・計	193	38	152	3
	100.0%	19.7%	78.8%	1.6%
計・男性	264	50	212	2
	100.0%	18.9%	80.3%	0.8%
計・女性	105	13	90	2
	100.0%	12.4%	85.7%	1.9%
計・20代	78	10	67	1
	100.0%	12.8%	85.9%	1.3%
計・30代	157	28	129	0
	100.0%	17.8%	82.2%	0.0%
計・40代	134	25	106	3
	100.0%	18.7%	79.1%	2.2%
全 体	369	63	302	4
	100.0%	17.1%	81.8%	1.1%

## 4. 女性医師の就業環境

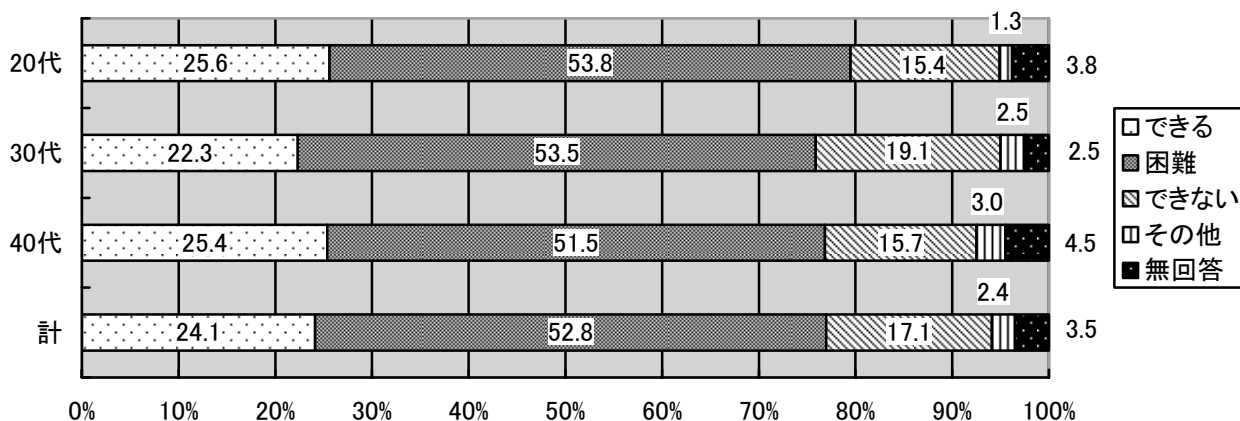
### 1) 育児と仕事の両立についての考え方

	合計	できる と思う	困難だ と思う	できない と思う	その他	無回答
計・非会員	176	34	100	34	2	6
	100.0%	19.3%	56.8%	19.3%	1.1%	3.4%
計・会員	193	55	95	29	7	7
	100.0%	28.5%	49.2%	15.0%	3.6%	3.6%
計・男性	264	66	133	47	5	13
	100.0%	25.0%	50.4%	17.8%	1.9%	4.9%
計・女性	105	23	62	16	4	0
	100.0%	21.9%	59.0%	15.2%	3.8%	0.0%
計・20代	78	20	42	12	1	3
	100.0%	25.6%	53.8%	15.4%	1.3%	3.8%
計・30代	157	35	84	30	4	4
	100.0%	22.3%	53.5%	19.1%	2.5%	2.5%
計・40代	134	34	69	21	4	6
	100.0%	25.4%	51.5%	15.7%	3.0%	4.5%
全 体	369	89	195	63	9	13
	100.0%	24.1%	52.8%	17.1%	2.4%	3.5%

性別育児と仕事の両立についての考え方



年齢別育児と仕事の両立についての考え方



2) 実際の育児と仕事の両立（分べん及び育児経験がある女性のみ）

	合計	できた	困難である	できない
計・非会員	12	3	7	2
	100.0%	25.0%	58.3%	16.7%
計・会員	17	8	8	1
	100.0%	47.1%	47.1%	5.9%
計・20代	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計・30代	15	6	9	0
	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%
計・40代	14	5	6	3
	100.0%	35.7%	42.9%	21.4%
全 体	29	11	15	3
	100.0%	37.9%	51.7%	10.3%

3) (法律で保障されている)育児休暇を取りたいか

	合計	取ったことがある	取りたい	取れない	取りたくない	子どもがいない	無回答
計・非会員	176	4	33	75	18	44	2
	100.0%	2.3%	18.8%	42.6%	10.2%	25.0%	1.1%
計・会員	193	6	32	76	33	42	4
	100.0%	3.1%	16.6%	39.4%	17.1%	21.8%	2.1%
計・男性	264	2	34	122	48	52	6
	100.0%	0.8%	12.9%	46.2%	18.2%	19.7%	2.3%
計・女性	105	8	31	29	3	34	0
	100.0%	7.6%	29.5%	27.6%	2.9%	32.4%	0.0%
計・20代	78	0	25	20	4	29	0
	100.0%	0.0%	32.1%	25.6%	5.1%	37.2%	0.0%
計・30代	157	6	26	65	18	41	1
	100.0%	3.8%	16.6%	41.4%	11.5%	26.1%	0.6%
計・40代	134	4	14	66	29	16	5
	100.0%	3.0%	10.4%	49.3%	21.6%	11.9%	3.7%
全 体	369	10	65	151	51	86	6
	100.0%	2.7%	17.6%	40.9%	13.8%	23.3%	1.6%

4) (育児休暇を) 取れない (取りたくない) 理由(複数回答可)

(前問で「取れない」「取りたくない」と回答した者のみ)

	合計	同僚に迷惑をかける	研究・キャリア形成に支障	家庭経済を破綻させる	育児に向いていない	その他	無回答
計・非会員	143	84	18	26	5	10	0
	N=93	90.3%	19.4%	28.0%	5.4%	10.8%	0.0%
計・会員	177	93	28	32	8	14	2
	N=109	85.3%	25.7%	29.4%	7.3%	12.8%	1.8%
計・男性	262	150	24	53	12	21	2
	N=170	88.2%	14.1%	31.2%	7.1%	12.4%	1.2%
計・女性	48	27	12	5	1	3	0
	N=32	84.4%	37.5%	15.6%	3.1%	9.4%	0.0%
計・20代	40	21	7	11	0	1	0
	N=24	87.5%	29.2%	45.8%	0.0%	4.2%	0.0%
計・30代	134	75	16	24	5	14	0
	N=83	90.4%	19.3%	28.9%	6.0%	16.9%	0.0%
計・40代	136	81	13	23	8	9	2
	N=95	85.3%	13.7%	24.2%	8.4%	9.5%	2.1%
全 体	310	177	36	58	13	24	2
	N=202	87.6%	17.8%	28.7%	6.4%	11.9%	1.0%

5) (所属施設における) 産休制度の利用のしやすさ

	合計	利用できる	利用しにくい	わからない	無回答
計・非会員	176	21	41	110	4
	100.0%	11.9%	23.3%	62.5%	2.3%
計・会員	193	37	38	110	8
	100.0%	19.2%	19.7%	57.0%	4.1%
計・男性	264	31	45	177	11
	100.0%	11.7%	17.0%	67.0%	4.2%
計・女性	105	27	34	43	1
	100.0%	25.7%	32.4%	41.0%	1.0%
計・20代	78	11	20	46	1
	100.0%	14.1%	25.6%	59.0%	1.3%
計・30代	157	24	35	91	7
	100.0%	15.3%	22.3%	58.0%	4.5%
計・40代	134	23	24	83	4
	100.0%	17.2%	17.9%	61.9%	3.0%
全 体	369	58	79	220	12
	100.0%	15.7%	21.4%	59.6%	3.3%

6) (所属施設における) 育休制度の利用しやすさ

	合計	利用できる	利用しにくい	わからない	無回答
計・非会員	176	12	52	109	3
	100.0%	6.8%	29.5%	61.9%	1.7%
計・会員	193	24	50	113	6
	100.0%	12.4%	25.9%	58.5%	3.1%
計・男性	264	23	56	177	8
	100.0%	8.7%	21.2%	67.0%	3.0%
計・女性	105	13	46	45	1
	100.0%	12.4%	43.8%	42.9%	1.0%
計・20代	78	7	24	46	1
	100.0%	9.0%	30.8%	59.0%	1.3%
計・30代	157	15	45	92	5
	100.0%	9.6%	28.7%	58.6%	3.2%
計・40代	134	14	33	84	3
	100.0%	10.4%	24.6%	62.7%	2.2%
全 体	369	36	102	222	9
	100.0%	9.8%	27.6%	60.2%	2.4%

## 7) (所属施設内の) 託児・保育施設の有無

	合計	あり	なし	知らない	無回答
計・非会員	176	46	73	54	3
	100.0%	26.1%	41.5%	30.7%	1.7%
計・会員	193	53	87	50	3
	100.0%	27.5%	45.1%	25.9%	1.6%
計・男性	264	67	106	87	4
	100.0%	25.4%	40.2%	33.0%	1.5%
計・女性	105	32	54	17	2
	100.0%	30.5%	51.4%	16.2%	1.9%
計・20代	78	13	29	36	0
	100.0%	16.7%	37.2%	46.2%	0.0%
計・30代	157	47	69	38	3
	100.0%	29.9%	43.9%	24.2%	1.9%
計・40代	134	39	62	30	3
	100.0%	29.1%	46.3%	22.4%	2.2%
全 体	369	99	160	104	6
	100.0%	26.8%	43.4%	28.2%	1.6%

## 8) (近隣の) 託児・保育施設の有無

	合計	あり	なし	知らない	無回答
計・非会員	176	50	29	94	3
	100.0%	28.4%	16.5%	53.4%	1.7%
計・会員	193	47	33	101	12
	100.0%	24.4%	17.1%	52.3%	6.2%
計・男性	264	66	40	147	11
	100.0%	25.0%	15.2%	55.7%	4.2%
計・女性	105	31	22	48	4
	100.0%	29.5%	21.0%	45.7%	3.8%
計・20代	78	19	11	48	0
	100.0%	24.4%	14.1%	61.5%	0.0%
計・30代	157	46	25	80	6
	100.0%	29.3%	15.9%	51.0%	3.8%
計・40代	134	32	26	67	9
	100.0%	23.9%	19.4%	50.0%	6.7%
全 体	369	97	62	195	15
	100.0%	26.3%	16.8%	52.8%	4.1%

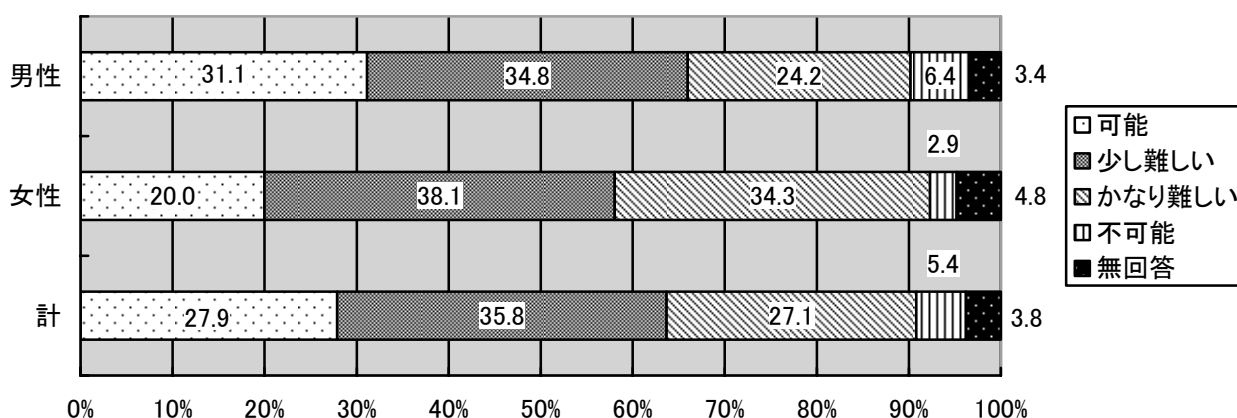
## 9) (所属施設からの) 託児・保育施設利用時の補助の有無

	合計	あり	なし	知らない	無回答
計・非会員	176	17	28	127	4
	100.0%	9.7%	15.9%	72.2%	2.3%
計・会員	193	19	38	125	11
	100.0%	9.8%	19.7%	64.8%	5.7%
計・男性	264	27	39	185	13
	100.0%	10.2%	14.8%	70.1%	4.9%
計・女性	105	9	27	67	2
	100.0%	8.6%	25.7%	63.8%	1.9%
計・20代	78	5	12	60	1
	100.0%	6.4%	15.4%	76.9%	1.3%
計・30代	157	18	30	104	5
	100.0%	11.5%	19.1%	66.2%	3.2%
計・40代	134	13	24	88	9
	100.0%	9.7%	17.9%	65.7%	6.7%
全 体	369	36	66	252	15
	100.0%	9.8%	17.9%	68.3%	4.1%

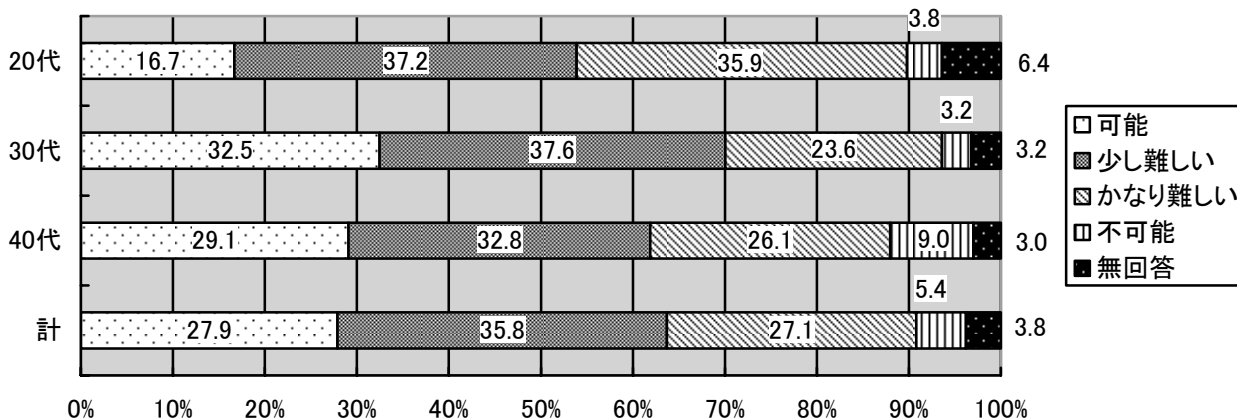
10) 長期間離職後の現場復帰の可否

	合計	可能	少し 難しい	かなり 難しい	不可能	無回答
計・非会員	176	44	59	58	8	7
	100.0%	25.0%	33.5%	33.0%	4.5%	4.0%
計・会員	193	59	73	42	12	7
	100.0%	30.6%	37.8%	21.8%	6.2%	3.6%
計・男性	264	82	92	64	17	9
	100.0%	31.1%	34.8%	24.2%	6.4%	3.4%
計・女性	105	21	40	36	3	5
	100.0%	20.0%	38.1%	34.3%	2.9%	4.8%
計・20代	78	13	29	28	3	5
	100.0%	16.7%	37.2%	35.9%	3.8%	6.4%
計・30代	157	51	59	37	5	5
	100.0%	32.5%	37.6%	23.6%	3.2%	3.2%
計・40代	134	39	44	35	12	4
	100.0%	29.1%	32.8%	26.1%	9.0%	3.0%
全 体	369	103	132	100	20	14
	100.0%	27.9%	35.8%	27.1%	5.4%	3.8%

性別長期間離職後の現場復帰の可否



年齢別長期間離職後の現場復帰の可否



11) 長期間離職後の現場復帰を容易にするために必要なもの（複数回答可）

	合計	教育システム	人員補充システム	ドクターバンク制度の創設	ワークシェアリングシステム	病児保育	家事支援	家族の理解	その他	無回答
計・非会員	485	65	103	50	91	60	33	67	8	8
	N=176	36.9%	58.5%	28.4%	51.7%	34.1%	18.8%	38.1%	4.5%	4.5%
計・会員	517	74	127	40	99	49	39	77	7	5
	N=193	38.3%	65.8%	20.7%	51.3%	25.4%	20.2%	39.9%	3.6%	2.6%
計・男性	630	96	166	61	114	49	41	82	10	11
	N=264	36.4%	62.9%	23.1%	43.2%	18.6%	15.5%	31.1%	3.8%	4.2%
計・女性	372	43	64	29	76	60	31	62	5	2
	N=105	41.0%	61.0%	27.6%	72.4%	57.1%	29.5%	59.0%	4.8%	1.9%
計・20代	214	30	44	15	37	26	20	39	1	2
	N=78	38.5%	56.4%	19.2%	47.4%	33.3%	25.6%	50.0%	1.3%	2.6%
計・30代	410	50	98	31	81	48	24	64	8	6
	N=157	31.8%	62.4%	19.7%	51.6%	30.6%	15.3%	40.8%	5.1%	3.8%
計・40代	378	59	88	44	72	35	28	41	6	5
	N=134	44.0%	65.7%	32.8%	53.7%	26.1%	20.9%	30.6%	4.5%	3.7%
全 体	1002	139	230	90	190	109	72	144	15	13
	N=369	37.7%	62.3%	24.4%	51.5%	29.5%	19.5%	39.0%	4.1%	3.5%

## 5. まとめ、考察と提言

大阪府医師会 勤務医部会 副部長  
勤務環境検討委員会委員長

志 村 研太郎

### 【まとめ】

非会員勤務医に対して行った「勤務環境に関するアンケート調査」ならびに会員勤務医に対して行った「第18回会員意見調査」の結果から次のことが判明した。

- ① 法定労働時間（1週40時間）以内の労働（超過勤務・当直を含む）ですんでいる勤務医は10%以下であり、1週あたり60～80時間という過重労働をしている勤務医が多く（35.8%）、80時間以上の超“超過労働”の勤務医も30%近くに達している（男性30.7%、女性21.0%）。中間値推計では1週間あたりの平均実労働時間（合計）は64.0時間。〔4ページ参照〕
- ② （当直時間を除く）平均的な超過勤務時間が週20時間以上（月換算すると80時間以上、すなわち「（脳・心臓疾患による）過労死」の労災認定基準を満たしている）の勤務医は男性33.7%（中間値推計17.2時間）、女性18.1%（中間値推計15.4時間）。若い年代ほど超過勤務時間が多い（中間値推計。全体16.8時間、20代19.5時間、30代16.3時間、40代15.8時間）。〔5ページ参照〕
- ③ 大多数の勤務医（74.0%）は当直をしているが、回数は月1～4回が多い（55.8%）。中間値推計では当直回数は月平均4.18回。〔6ページ参照〕
- ④ 当直明けは殆どが通常勤務であり（94.7%）、その内容も平均5件以上の患者診療が多く（45.9%）、厚労省が認める本来の「当直」の定義（電話当番・診回り程度）とはかけ離れている。〔7～8ページ参照〕
- ⑤ 3/4近い勤務医（74.0%）は、就業時間を過重と捉えている（男性78.8%、女性61.9%）。そのうち41.4%は「かなり過重」と回答（男性41.8%、女性40.0%）。〔9ページ参照〕
- ⑥ 過重労働による不安は「自身の健康（85.0%）」「医療ミス（66.3%）」「家族関係（56.4%）」の順である。なお、自身の健康は30代が最も不安視しており（20代76.4%、30代89.9%、40代84.4%）、医療ミスは若いほど不安とし（20代76.4%、30代68.8%、40代58.7%）、家族関係については、男性の方が女性より不安である（男性58.7%、女性49.2%）と回答した。〔10ページ参照〕
- ⑦ 労働基準法で認められる宿日直勤務の規定を知っていた者は2割に満たない。〔11ページ参照〕
- ⑧ 育児と仕事の両立は7割（69.9%）の勤務医が難しいと感じている（そのうち「困難だと思う」75.6%、「できないと思う」24.4%）。〔12ページ参照〕
- ⑨ 育児休暇は取りたいが取れない状況にある（取りたい：取れない＝1:2.32。男性1:3.59、女性1:0.94）。〔13ページ参照〕
- ⑩ 所属施設の産休・育休制度を知らない者が6割を超える産休（全体59.6%、男性67.0%、女性41.0%）、育休（全体60.2%、男性67.0%、女性42.9%）。〔14ページ参照〕
- ⑪ 所属施設内および近隣の託児・保育施設の有無を知らない者はそれぞれ28.2%（男性33.0%、女性16.2%）、52.8%（男性55.7%、女性45.7%）。また、同施設利用時の所属施設の補助の有無についても68.3%（男性70.1%、女性63.8%）が知らず、無関心派が多い。〔15ページ参照〕
- ⑫ 長期間離職後の現場復帰は2/3以上（68.3%）が難しい、または不可能と思っており、現場復帰を容易にするためには、人員補充システム（62.3%）、ワークシェアリングシステム（51.5%）などが必要と考えている。なお、女性では家族の理解（59.0%）、病児保育（57.1%）も高回答であった。〔16～17ページ参照〕

## 【考 察】

平均寿命など各種指標の比較からみても、世界に誇るべき「健康大国」であるわが国の医療費（対 GDP 比）は OECD 加盟30カ国中17位に過ぎない。このような「安上がりで高度な医療」を支えるについて、医師の過酷な労働が重要な要素の一つであったといっても過言ではない。

しかしながら、プロとしての誇りと使命感に基づく献身的努力は「勤務医の過重労働」につながり、医師が自身の健康や家庭を犠牲にしかねない異常な状況は限界に達している。何より、「過労死」の認定基準に達する長時間勤務や、実は時間外労働にあたる「当直」明けにそのまま診療に従事することが「患者安全」を脅かすことが危惧される。

今回の2種類のアンケート調査により病院勤務医の勤務環境の厳しさと、その具体的な内容、さらには医療ミスにおおのく勤務医師の姿が浮き彫りにされた。

現在、小児科、産婦人科、麻酔科などにおける深刻な医師不足が社会問題化しつつあるが、わが国の人口あたりの医師数は OECD 加盟30ヶ国中25位という低いレベルであり、平均レベル（290人／10万人）を満たすためには、現在、26万人の医師数ではなお12万人が不足であるとの試算もある。

すなわち、「医師不足」は決して科別・地域別の特異な現象として説明できるものではなく、現在の過酷な勤務環境が今後も継続するならば、急性期医療を担う多くの診療科において医師不足が顕在化し、国民の健康を守れない事態が間近に迫っていると予測される。

今回のアンケート調査で明らかとなった実態を踏まえ、医師会、勤務医部会にはこれを抜本的に解決すべく行動に移ることが課せられているといえよう。

## 【提言】

医師の勤務環境を阻害する要因として

### I 勤務医師のマンパワーの不足

新医師臨床研修制度施行に伴い大学からの医師派遣が困難となったことを契機に医師不足が顕在化したこと

勤務環境が整備されないままに女性医師が増加していること

勤務医師の激務に耐えかねた多くの中堅医師の開業医指向が加速していること

### II 医療従事者の勤務環境の整備が病院の経営に対する圧迫要因となること

### III 医療ミスと訴訟の重圧

などが挙げられる。

解決は容易ではないが

① 患者・市民の理解

② 病院開設者の現状認識と勤務環境整備の義務づけ

③ 女性医師の勤務環境の整備：妊娠・分娩・育児への支援、職場復帰支援など

④ 医師の勤務環境を改善してもなお病院経営が成り立つ診療報酬体系の整備

⑤ 無過失補償制度など訴訟重圧の緩和策

などが求められる。

一方で、医療に市場原理を導入しようとする強い意図が働いている現在、それを跳ね返す強力な理論武装と行動が求められている。

誇りと使命感をもって、国民の健康のために過労死の定義を満たす勤務環境に身をおいているわれわれ勤務医にとって、医師をサービス業とする定義には疑問を感じざるをえない。医療は、国民の基本的な人権を守る安全保障と定義されるべきであって、経済動向に左右されない財政当局の役割が果たされるべきであると考えている。

会員の過半数が勤務医によって占められるに至った現在、医師会の負うべき責務は大きい。医師の先頭に立って、患者、国民の理解を求め、患者の健康、安全とそれに直結する医師の QOL を保つための具体的な行動が求められている。そしていうまでもなく、その運動の主体を担うという積極的な姿勢が今、勤務医に求められている。

## 6. おわりに

**大阪府医師会 理事／勤務医部会 副部会長**  
**藤 田 敬之助**

従来、医師の需給に関して厚生労働省と日本医師会は、医師数は充足しているとしてきました。しかし、病院勤務医は過重労働に嫌気がさし、開業志向が強まり、残った勤務医はますます過重労働を強いられるという悪循環に陥っています。

平成16年度からスタートした新医師臨床研修制度の施行を契機に、小児科医、産科医、麻酔科医の不足が露呈し、地域医療に大きな支障をきたし始め、一部では社会問題となっています。

さらに、病院勤務医の過重労働の実態やへき地医療問題に対する各種調査結果や報道内容を見ると、病院勤務医師数そのものが不足していることは明らかといえます。

一方、経済協力開発機構（OECD）によると、人口千人あたり医師数（2002年）は、加盟30カ国の平均は2.9人で、わが国の医師数2.0人（＝人口10万人対200人）は同加盟国中27位となっています。

イギリスの医師数は、わが国より低い水準にありましたが、ブレア首相の医療サービス向上政策により、2.1人まで回復し、わが国を追い越しています。

1979年のOECD発表データの平均は1.8人でしたので、この20年余りの間に1.1人増加したわけですが、わが国ではその間に0.8人の増加にとどまり、その差はますます大きくなっています。わが国における病院勤務医師数の不足は、とりもなおさず医師数全体の不足によるものといえます。

今般、大阪府医師会ならびに勤務医部会が実施したアンケート調査結果（本報告書）からも、過重労働の実態が浮き彫りとなりました。

50歳未満の病院勤務医師の9割以上が時間外勤務を行っており、週20時間を超える超過勤務も全体の約3割（29.3%）に達しています。

この週20時間以上というのは、過労死の労働災害認定基準である「“発症前2～6カ月間に80時間を超える時間外労働”または“発症前1カ月間に100時間を超える時間外労働”では関連性が強い」とされているものを十分満たしており、多くの病院勤務医はいつ死んでも「労災認定」を受ける状況であるといえます。

なお、この2つのアンケート調査結果では、1週間あたりの平均超過勤務時間（中間値推計）は全体で16.8時間（男性17.2時間、女性15.4時間。20代19.5時間、30代16.3時間、40代15.8時間）であり、過労死認定基準となる1カ月80時間以上の超過勤務をしている勤務医は、男性33.7%、女性18.1%。20代38.5%、30代26.1%、40代27.6%となっています。

一つの病院で訴えても、労働基準局から指導が入り、医師を増やすか、業務を減らすかの選択を迫られ、結局業務を減らし、病院の収入は減り、医師も減らすという結果がみえています。これでは日本の医療は崩壊してしまいます。勤務医が一つになって、全体として訴えていかねばなりません。そのためには、医師会が大きな力となると考えます。多くの勤務医が医師会に籍を置き、勤務医会員自らが声を上げ、勤務環境を改善する活動の先頭に立とうではありませんか。

大阪府医師会勤務医部会では、これからも勤務環境（過重労働と女性医師の就業環境）の改善のために積極的に取り組んで参ります。

ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

社団法人



# 大阪府医師会

〒543-8935

大阪市 天王寺区 上本町 2-1-22

TEL 06-6763-7006

FAX 06-6764-0267

大阪府医師会ホームページ

<http://www.osaka.med.or.jp/>